

新フェローの紹介

岡太 彬訓 (おかだ あきのり) 氏

昭和18年9月25日生れ

〔現住所〕神奈川県川崎市麻生区

〔学歴〕昭和41年 慶應義塾大学工学部管理工学科卒業 (工学博士)

〔職歴〕

昭和46年 千葉大学工学部助手

昭和47年 立教大学社会学部専任講師

昭和56年 同教授

この間、東京都立大学文学部、慶應義塾大学大学院社会学研究科、東北大学文学部、千葉大学文学部非常勤講師を歴任、昭和57~58年米国イリノイ大学心理学科客員教授

〔OR学会関係〕マーケティング・エンジニアリング研究部会主査 平成10~13年度

〔著書等〕マーケティングの数理モデル (共編著, 朝倉書店, 2001), マーケティングハンドブック (共監訳, 朝倉書店, 1997), パソコン多次元尺度構成法 (共著, 共立出版, 1994), 3元データの分析—多次元尺度構成法とクラスター分析法— (共訳, 共立出版, 1990), 統計処理アドバンスドI (丸善, 1988), 論文約50編, 解説, 発表多数

岡太氏は、多次元尺度構成法とクラスター分析の理論、モデル構成、アルゴリズム、応用に関する研究で多くの発表をされるとともに、プログラムの開発を精力的に行い、これらの手法の利用の推進に努力されています。近年は、多次元尺度構成法やクラスター分析が、従来、暗黙の前提としていた変数間の関係の対称性を前提としない分析方法である非対称多次元尺度構成法や非対称クラスター分析法の開発、それらのマーケティングなどへの応用を中心に研究・教育に従事されています。本学会においては、3年間「マーケティング・エンジニアリング」研究部会の主査として、活動を支えてられました。



新村 秀一 (しんむら しゅういち) 氏

昭和23年4月26日生れ

〔現住所〕千葉県柏市逆井

〔学歴〕昭和46年 京都大学理学部数学科卒業 (理学博士)

〔職歴〕

昭和46年 住商コンピュータサービス(株)入社

平成8年 成蹊大学経済学部教授



この間、立教大学社会学部、東洋大学経済学部非常勤講師を歴任

〔OR学会関係〕機関誌編集委員 昭和58年度~平成6年度, 評議員 平成2~9年度, 理事 (庶務) 平成11~12年度, 平成11年度秋季研究発表会実行委員
〔著書等〕SASによる回帰分析の実践 (訳, 朝倉書店, 1986), 統計処理エッセンシャル (共著, 丸善, 1987), 易しく実践データ解析の進め方 (共立出版, 1989), GINOによるモデリングと最適化 (共訳, 共立出版, 1990), 実践数理計画法 (共訳, 朝倉書店, 1992), 意思決定支援システムの鍵 (講談社, 1993), SAS言語入門 (丸善, 1994), SPSS for Windows 入門 (丸善, 1994), パソコンによるデータ解析 (講談社, 1995), パソコン楽々統計学 (講談社, 1997), パソコンらくらく数学 (講談社, 1999), 経営科学 OR用語大事典 (分担執筆, 朝倉書店, 1999), パソコンによるゼロからの統計入門 (講談社, 2002), 論文約70編, 発表多数

新村氏は、研究や実務に使える統計ソフト (SASS, SPSS, Statistica) や数理計画法ソフト (LINDO), 数学ソフト (Speakeasy) を日本に紹介するとともに、それらを用いた実証研究や教授法の研究を、統計に関しては、回帰分析や判別分析、データマイニング手法を用いた研究や統計教育法の研究をされています。最近の主な研究テーマは、数理計画法を用いた判別分析の手法の開発と各種データを用いた実証研究をされています。本学会においては、委員, 理事, 評議員を歴任され、本学会の発展に貢献されています。

滝根 哲哉 (たきね てつや) 氏

昭和 36 年 11 月 28 日生れ

〔現住所〕京都府京都市北区

〔学歴〕昭和 59 年 京都大

学工学部数理工学科卒業

平成元年 同大学院工学研究

科博士後期課程修了 (工学博

士)

〔職歴〕

平成元年 京都大学工学部数

理工学科助手

平成 6 年 大阪大学工学部情報システム工学科講師

同年 同助教授

平成 10 年 京都大学大学院情報学研究科数理工学専

攻助教授

〔OR 学会関係〕第 25 回文献賞 平成 9 年度, 論文

誌編集委員 平成 10~13 年度, 関西支部運営委員

平成 11 年度~現在, 現在「待ち行列」研究部会主査

〔著書等〕ネットワーク設計理論 (共著, 岩波書店),

学術雑誌論文 70 編, 査読付き国際会議論文 48 編, 講

演多数

滝根氏は, 待ち行列理論におけるアルゴリズム的解法, 特に通信ネットワークへの応用上極めて重要な複数の到着流を収容する待ち行列モデルに関する研究を精力的に進めてこられ, 理論のみならずその応用に関しても多くの論文を発表されています。これらの成果の一つである優先権付き待ち行列モデルに関する研究が評価され, 平成 9 年度には本学会文献賞を受賞されました。その後も活発な研究活動を継続され, 従来, 解析が困難と考えられていた先着順サービス待ち行列モデルに対するアルゴリズム的解法を確立されるなど顕著な業績をあげられるとともに, 若手研究者の指導に尽力されています。本学会においては, 論文誌編集委員, 研究部会主査, 関西支部運営委員を歴任され, 本学会の運営に貢献されています。



土谷 隆 (つちや たかし) 氏

昭和 35 年 11 月 28 日生れ

〔現住所〕東京都世田谷区桜

丘

〔学歴〕昭和 61 年 東京大

学工学系研究科計数工学専攻

修了

〔職歴〕

昭和 61 年 統計数理研究所

予測制御研究系助手

平成 6 年 同助教授

〔OR 学会関係〕研究普及委員 平成 6~9 年度, 第

25 回文献賞 平成 9 年度

〔著書等〕内点法 (共著, 朝倉書店, 2001), 査読付

き学術論文 28 編, 講演, 発表多数

土谷氏は, 線形計画法, 半正定値計画法や 2 次錐計画法に対する内点法に関する研究をされ, また, テータ解析, テータマイニングや学習等, テータからの知識発見にも興味を持たれるなど幅広い研究活動をされてきました。平成 9 年度には線形問題に対するアフィンスケーリング法の超一次収束性の研究が評価され, 第 25 回文献賞を受賞されました。本学会においては, 研究部会幹事や研究普及委員を歴任され, 本学会関連分野の発展に寄与すべく研究集会やシンポジウムの企画をされるなど貢献されています。



中川 暉夫 (なかがわ としお) 氏

昭和 17 年 11 月 30 日生れ

〔現住所〕三重県四日市市山

城町

〔学歴〕昭和 42 年 名古屋

工業大学大学院工学研究科計

測工学専攻修士課程修了 (工

学博士)

〔職歴〕

昭和 42 年 名城大学理工学

部数学科助手

昭和 63 年 愛知工業大学経営工学科教授

平成 12 年 同経営情報学部マーケティング情報学科

教授

この間, シラキュース大学研究員

〔OR 学会関係〕評議員 平成 4~11 年度, 中部支部

副支部長 平成 8~9 年度, 中部支部長 平成 10~11



年度，理事（無任所）平成11～12年度

〔著書等〕応用確率論（共著，朝倉書店，1977），統計学の基礎（共著，実教出版，1984），オペレーションズ・リサーチ（共著，日刊工業新聞社，1995），論文約150編，研究発表多数

中川氏は，信頼性理論における冗長システムの解析や最適保全方策の研究に精力的に取り組まれ，その成果は国内外の学術雑誌に数多く掲載され，国際的にも高く評価されています。最近では，信頼性理論をコンピュータシステムや情報システムの解析に応用し，システムの高信頼化設計，高信頼化技術，性能評価などの研究も積極的にされています。本学会においては，中部支部の副支部長，支部長として，中部産業界との交流を通じORの普及に努められ，また，評議員，理事などを歴任され，本学会の発展に貢献されています。

山川 典宏（やまかわ のりひろ）氏

昭和6年1月29日生れ

〔現住所〕福岡県宗像市日の里

〔学歴〕昭和28年九州工業大学金属工学科卒業（理学博士）

〔職歴〕

昭和28年（株）日立製作所入社，笠戸工場主任技師，副技



師長（QAセンター長）を経て

昭和52年九州産業大学経営学部教授，現在に至る

この間，情報処理センター所長，経営学部長を歴任
〔OR学会関係〕九州支部副支部長 昭和54～61年度，九州支部運営委員 昭和62年度～平成9年度，九州支部顧問 平成12年度～現在

〔著書等〕適応制御過程1—工学的接近—，都市システム論，経営情報学，論文約30編，学会発表多数

山川氏は，企業現場における経営管理課題の解決のためにオペレーションズ・リサーチ，統計数学のいろいろの手法を実用した経験から，OR手法，なかでも最適化手法の重要性を認識し，その発展に寄与するべく努力を続けてこられました。最近では，経営システムの外延としての経済システムのモデル，グローバル経済システムの制御モデルとして巨大スケールのECO-ECOモデルの構築に向けての可能性を探るなど，精力的に研究をされています。本学会においては，長年にわたり九州支部副支部長，運営委員として九州支部の運営に尽力され，平成12年度からは支部顧問として活躍されるなど，本学会の発展に貢献されています。